

いいまち 議会だより

2021年10月15日

第96号

発行：長野県飯島町議会

疫病退散祈願

飯島中学校2年2組 (訪問インタビュー) p2.3

いいじまの水はうまい



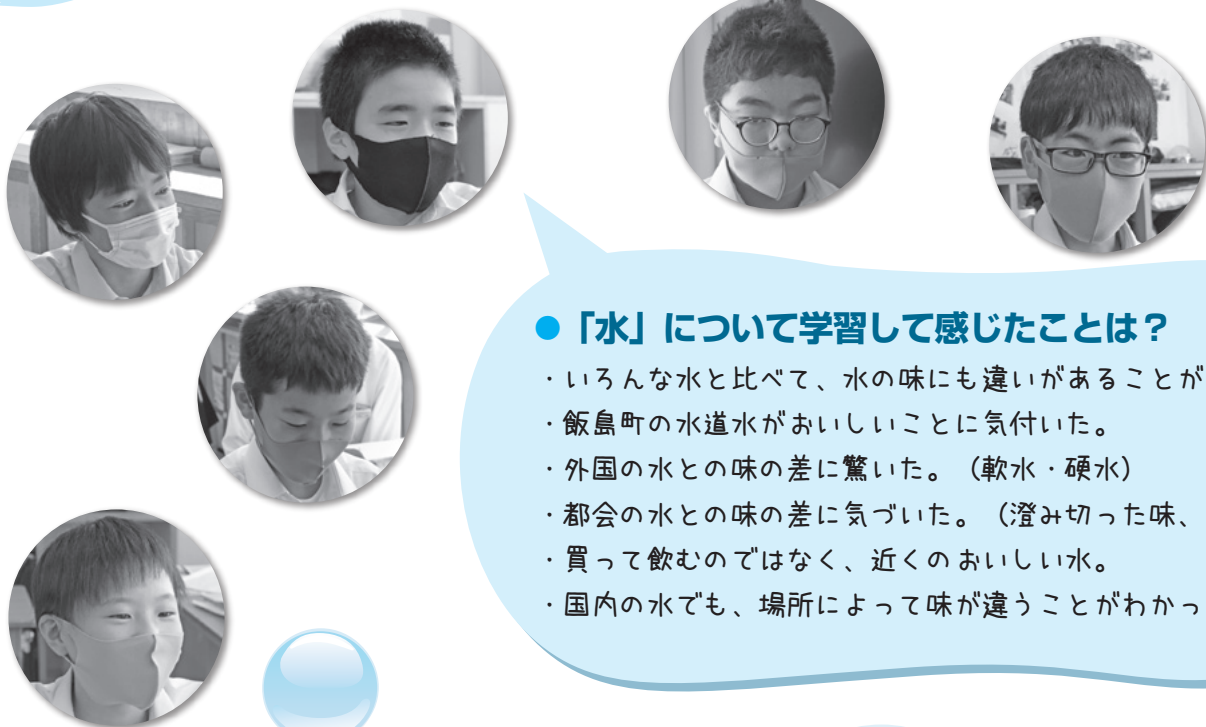
議会HPIはこちらから
YouTubeでも配信中

写真／広報委員会

10月2日 鳥居原自治会洲原神社

飯島町

こっちの水は



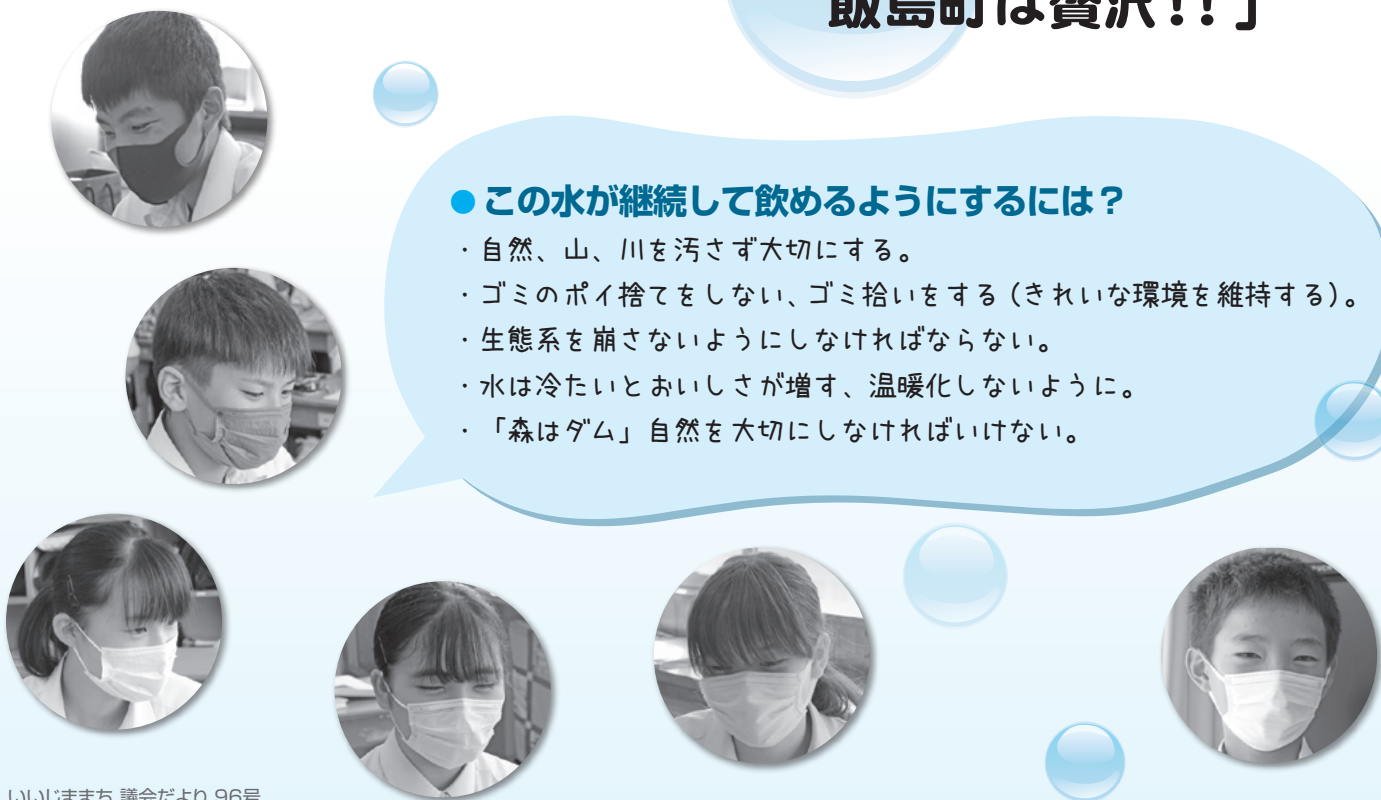
●「水」について学習して感じたことは？

- ・ いろんな水と比べて、水の味にも違いがあることがわかった。
- ・ 飯島町の水道水がおいしいことに気付いた。
- ・ 外国の水との味の差に驚いた。（軟水・硬水）
- ・ 都会の水との味の差に気づいた。（澄み切った味、におい）
- ・ 買って飲むのではなく、近くのおいしい水。
- ・ 国内の水でも、場所によって味が違うことがわかった。

「こんなにおいしい水道水が飲めるなんて、
飯島町は贅沢!!」

●この水が継続して飲めるようにするには？

- ・ 自然、山、川を汚さず大切にする。
- ・ ゴミのポイ捨てをしない、ゴミ拾いをする（きれいな環境を維持する）。
- ・ 生態系を崩さないようにしなければならない。
- ・ 水は冷たいとおいしさが増す、温暖化しないように。
- ・ 「森はダム」自然を大切にしなければいけない。



飯島中学校 2年2組を訪問

「まちの魅力発見」総合的な学習の時間での取り組み

おいしいぞ〜♪



● 学習を踏まえた今後の取り組み

- ・水に対して興味を持つようになった、もっと勉強したい。
- ・越百の水を都会でも飲んでもらいたい。
- ・都会の人へ発信「山からおいしい水、自然のおいしい水」がある町。
- ・この水を使っておいしい料理を作りたい。
- ・地元のお米（農産物）と一緒に全国に情報発信したい。

「ペットボトルの水など10種類ほど飲み比べた。
飯島の水道水が上位入賞！」
(ブラインドテスト実施)



新型コロナに翻弄された1年

令和3年9月定例会は、9月3日から17日までの15日間開催。令和2年度決算6件、令和3年度補正予算6件、人権擁護委員2人の推薦、農業委員1名の任命、条例2件を審査しました。最終日に一般会計補正予算と意見書提出が追加されました。いずれも可決・承認されました。

新型コロナウイルス感染症対策

・特別定額給付金	9億3600万円
・くらし復興券2回	1億9650万円
・避難所感染症対策	3177万円
・教育施設衛生環境整備	3016万円
・集会所エアコンなど	1673万円
・商工振興資金利子補給	1235万円
・事業継続応援	1197万円
・子育て世帯特別給付金	1084万円
・感染症対策資材購入支援	968万円
・保育園小中学校蛇口自動水栓	645万円
・文化館空調など	596万円
・自治会衛生資材	590万円
・観光施設改修	557万円
・スマート農業基盤整備	546万円
・空き家チャレンジショップ	395万円
・西庁舎エアコンなど	394万円
・新生児特別応援給付金	380万円
・学童クラブエアコン	350万円
・休業要請協力金	340万円
・小中学校保健特別対策	309万円
・保育園感染防止備品消耗品	304万円
・事業所感染拡大防止施設整備	239万円
・図書館パワーアップ	205万円
・2つの道の駅支援	204万円
・その他	621万円
合 計	13億2275万円

*繰越事業（令和3年度に繰越）

・飯島流ワーケーション	8433万円
・給食センター改築	7000万円
合 計	1億5433万円

財政指標は健全の範囲内

- ・実質公債費比率 9.8%（経常収入財源の比率）
- ・将来負担比率 58.9%（将来負担する負債）
- ・財政力指数 0.41（自己財源の比率）
- ・経常収支比率 83.3%（義務的経費の割合）

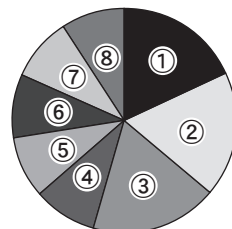
実質公債費比率は0.3ポイント増、将来負担比率は18.7ポイント減、財政力指数は前年同、経常収支比率は1.7ポイント増となった。

将来負担比率は県下では高い方だが、問題となるような数値ではない。経常収支比率の上昇は注視の必要がある。財政の硬直化の兆しだ。

令和2年度事業の議員注目点

- ①会計年度任用職員制度 2人
- ②くらし復興券 2人
- ③事業継続給付金 2人
- ④給食センター 1人
- ⑤不用額の変動 1人
- ⑥環境共生栽培 1人
- ⑦企業誘致 1人
- ⑧コロナ対策 1人

議員の注目事業



議員注目事業の評価点とコメント（5点満点）

- ・会計年度職員 2点 I種該当者がII種になる。
- ・会計年度職員 2点 処遇改善の努力が見えず。
- ・くらし復興券 5点 9割の町民が購入し、事業者にも利益をもたらした。
- ・くらし復興券 5点 地元事業者に還元。町民全員に権利があり、混乱もなく評価できる。
- ・コロナ対策 3点 国の制度通り。住民や事業者に寄り添ったものとは言えない。補正は評価。
- ・給食センター 3点 町長の思いに偏り残念。
- ・環境共生栽培 2点 作付けも減っている。ステップアップが必要。
- ・企業誘致 2点 大型企業誘致ができず残念。
- ・事業継続給付金 3点 まだ困窮事業者がいる。
- ・事業継続給付金 3点 給付対象外に町独自を。

3.3
(3.6)

()は前年度

町議会議員が決算を5点満点評価(5～1)し、その平均を発表。

行政3大事業と財政運営を、令和2年度年間を通じての取り組みや
決算状況を採点・コメント。(無記名アンケート：12人中11人回収)

財政運営

町の財政は健全化指数では安全を示しているが、経常収支比率が上昇し、硬直化の兆しがみられる。

3.4
(3.6)

1. 健全力指標の評価(最高点5)

- ・消極的な財政運営の結果だ(2)
- ・将来負担率が下がった(5)

3.6

2. 実質収支の動向(最高点5)

- ・実質単年度収支は多い(2)
- ・実質単年度収支減の努力が見える(5)

3.6

3. 経常収支比率(最高点4)

- ・人口減少に関らず毎年増大している(2)
- ・増加原因を把握している(4)

3.1

4. 基金の動向(最高点5)

- ・公共施設整備へ計画的積み立てを(2)
- ・理想的である(5)

3.1

福祉・教育・医療

コロナ感染症に振り回されたが、概ね良好に執行できた。ただ、問題点が無いわけではなく、指摘事項がある。

3.6
(3.4)

1. 子育て支援(最高点5)

- ・子育て支援センターが良好(5)
- ・低所得世帯臨時給付金は良い(3)

4.0

2. 教育環境整備(最高点5)

- ・適応障害や不登校児の対応に工夫を(3)
- ・コロナ対策の対応ができた(5)

3.6

3. 社会教育環境整備(最高点4)

- ・生涯学習が旧態依然(2)
- ・文化館などの感染症対策ができた(4)

2.9

4. 医療・健康管理(最高点5)

- ・国保滞納無く、職員努力が見える(5)
- ・高齢者見守りに遅れあり(3)

3.7

産業振興

「儲かる飯島町」の結果が求められたが、思うような成果は見えず、厳しい評価となっている。

2.7
(2.8)

1. 農業政策・地産地消(最高点4)

- ・給食食材の地産地消が進まない(2)
- ・先進的取り組みは良、地産地消は未(4)

2.9

2. 商工振興・企業誘致(最高点5)

- ・コロナ対策事業者支援が多くできた(5)
- ・企業誘致失敗の件は痛い(2)

2.6

3. 観光振興(最高点4)

- ・千人塚公園など利用が増えた(4)
- ・構想の練り直しが必要(2)

2.7

4. 森林林業活性化(最高点4)

- ・構想が見えた(4)
- ・事業の進行状況がつかめない(1)

2.4

インフラ整備・安全管理

財源を国県に頼るものは、遅れが出る。老朽化が進む施設があり、今後の課題となる。浄水場・下水処理場が難題。

3.6
(3.3)

1. 町道・橋梁整備(最高点5)

- ・努力がみえる(5)
- ・道路維持費が減っている(2)

3.6

2. 交通安全・防災減災(最高点5)

- ・感染症対策機材の導入が進んだ(5)
- ・通学路の安全対策に不安(2)

3.1

3. 公共施設老朽化対策・管理(最高点5)

- ・使途に無駄を感じない(5)
- ・長寿命化と統廃合の検討を(3)

3.5

4. 上水道・下水道管理(最高点5)

- ・老朽管の布設替えの進行を評価(5)
- ・施設老朽化が今後の課題(2)

4.0

令和2年度決算 概ね良好だが、細部で議論

決算6議案を総務産業分科会・社会文教分科会に分割付託。審査後主査報告・討論の後
全会一致で認定しました。

総務産業分科会主査報告

主 な 質 疑

★総務課

庶務係

問 職員のストレスチェックでストレス比が15.9%あるのに、相談がゼロである。事由は。

答 個人的に相談を促したわけではなく、自己判断とした結果。

危機管理係

問 コロナ感染の噂が広がって、疑心暗鬼になっている。個人限定しない情報の公表が必要では。

答 保健所対応で、町はノータッチ。県からの情報以外には知らされない。

★産業振興課

農政係

問 環境共生米の生産が減少している。原因分析とブランド対策は。

答 収量が低く、価格も高くできない。上伊那支援センターと連携し栽培改善の研究を進める。ブランド化も研究していきたい。

商工係

問 土地開発公社の保有地が減ったが、今後誘致を考えると企業用や住宅用の開発が必要ではないか。

答 誘致の際には注文事項も多いので、難しい面もある。

★建設水道課

調査計画係

問 町営住宅の滞納者は、固定的か。無理な回収は生活の質を落とすことになる。公営住宅法の趣旨に沿っているか。

答 数年分の滞納者もいる。福祉の面とも連携し、収納対策室とも情報共有している。



売却の赤坂分譲地

令和2年度 会 計 別 決 算

会計区分	歳 入	歳 出	差 引 額	貯 金 (基金)	借 金 (起債残)
一 般 会 計	66億8717万円	64億4813万円	2億3903万円	22億1112万円	42億3847万円
国 民 健 康 保 険	9億1559万円	8億9193万円	2366万円	1億9877万円	0
後 期 高 齢 者 医 療	1億5377万円	1億5068万円	309万円	0	0
介 護 保 険	11億3725万円	11億2391万円	1333万円	5125万円	0
水 道 事 業	3億8066万円	4億7339万円	▲9272万円	1億 150万円	15億1097万円
下 水 道 事 業	7億7471万円	9億2578万円	▲1億5107万円	0	48億7134万円
合 計	100億4917万円	100億1384万円	3533万円	25億6264万円	106億2080万円

*万円未満は切り捨てのため合計が合わない場合があります。

★地域創造課

地域係

問 自治会未加入者の現状と対策は。

答 360世帯ほどある。6～7月にアンケートを実施し、分析中である。各課と共有し対策を練る。

魅力デザイン係

問 インターネット販売は収支が取れているのか。

答 担当者の人件費を入れると赤字。黒字化には2000万円以上の売上が必要。

問 飯島町営業部がトーンダウンしていないか。出発点に戻って町が統括すべきでは。

答 特命チーム営業部と観光係を併合し、魅力デザイン係となった。幽霊部員もいるので整理したい。予算もないが、今後の方針は検討する。

水道事業会計

主 な 質 疑

問 老朽配水管の布設替えの残りはどのくらいあるのか。

答 漏水箇所を優先的に進める。残りは全体の2%くらいだが、工事が難しく、金のかかる箇所が残っている。

下水道事業会計

主 な 質 疑

問 毎年赤字になっていかないか。今後の対策はどうか。

答 維持管理費が大きな支出を占めている。また老朽化も進んでいるが、単独で施設維持が必

要かなどの診断を行いたい。将来的には処理場の統廃合を検討しなければならない。

農集排3つ・公共2つあるが、エリア分散も検討する。

社会文教分科会主査報告

主 な 質 疑

★住民税務課

住民係

問 マイナンバーカード交付数は。普及率は何%か。

答 8/31現在、申込件数3072件。交付件数2600人余で33%。

問 コロナの影響で国民年金が支払えず、免除や猶予制度を利用している人はいるか。

答 コロナの影響は不明。免除・学生特例猶予で延ばすことができる。毎年申請が必要。

生活環境係

問 ゴミの出し方などの今後の在り方は。

答 環境衛生自治会を通じて細かい広報が必要と考える。総会なしで役員会のみで現況では、ゴミの出し方の徹底に不安を感じている。

問 生ゴミ処理のコンポストが増えている理由は。

答 ぐらし復興券活用と思う。

税務係

問 法人税にコロナの影響はあるか。

答 変わっていない。JA上伊那の一部事業の撤退による均等割が減額となった。

問 固定資産税は高い収納率を維持しており、取り組みを評価できる。どのように取り組んで

いるか。

答 文字では表現できないような努力を続けている。評価をいただき感謝する。

★健康福祉課

地域福祉係

問 引きこもりが100人くらいいる。若年層や8050問題などにどのように支援をしているか。

答 世代や状況に合わせて支援している。

問 引きこもりサポート派遣が終了したが、成果は。

答 直接話を聞き、寄り添うことで、外出ができるようになった結果、就労に結び付き一旦終了した。

保健医療係

問 歯科検診が上伊那どこでも受診できるようになったが、効果は。

答 50人近く受診者が増えた。

問 産婦人科医の確保に向けた動きはどうか。

答 産婦人科医は誘致していない。助産師による出産施設が増加している。

★教育委員会

こども室

問 ギガスクールの構想をどのように行っていくのか。

答 ICT支援員を委託する。教員への支援・子供達が安心してタブレットを持ち帰れるようにする。

問 ICT化の費用が高く感じる。入札はしているか。

答 入札を行っている。高速化のため、LANケーブル入れ替えと無線LAN台数が多く高額になった。



文化館の活発活用を

生涯学習係

問 文化館の使用率が下がり収入が減っているが、対応は。

答 インターネット環境を整え、若者にも気軽に使ってもらい来館者を増やしたい。

問 コロナ禍ではあったが、文化館が真に生涯学習の拠点となるような取り組みはできたか。

答 努力はしているが、十分な成果は上げられていない。

問 今後の維持管理を考えた時、適切な改修により教育委員会の移転をすれば、生涯学習拠点機能の向上・文化館規模縮小の2つの課題が解決できるが。

答 生涯学習の立場で、理想的だと考え検討したい。

総括質疑・討論採択

主 な 質 疑

問 経常収支比率が83.3%と高い。財政の硬直化と見えるが対策は。

町長 コロナ対策と会計年度任用職員で上がっているが、全国平均では高くない。

問 経常収支の改善は入りを増やすことだ。儲かる飯島町のその後は。

町長 出を制し入りを図ることだ。企業誘致は30年来の不景気でどこも苦戦。高速交通網で変わってくる。地道な活動が必要だ。住宅を建てやすくする取り組みもしたい。

問 将来負担率が県下では大きい方だ。改善のテクニックがあるのではないか。

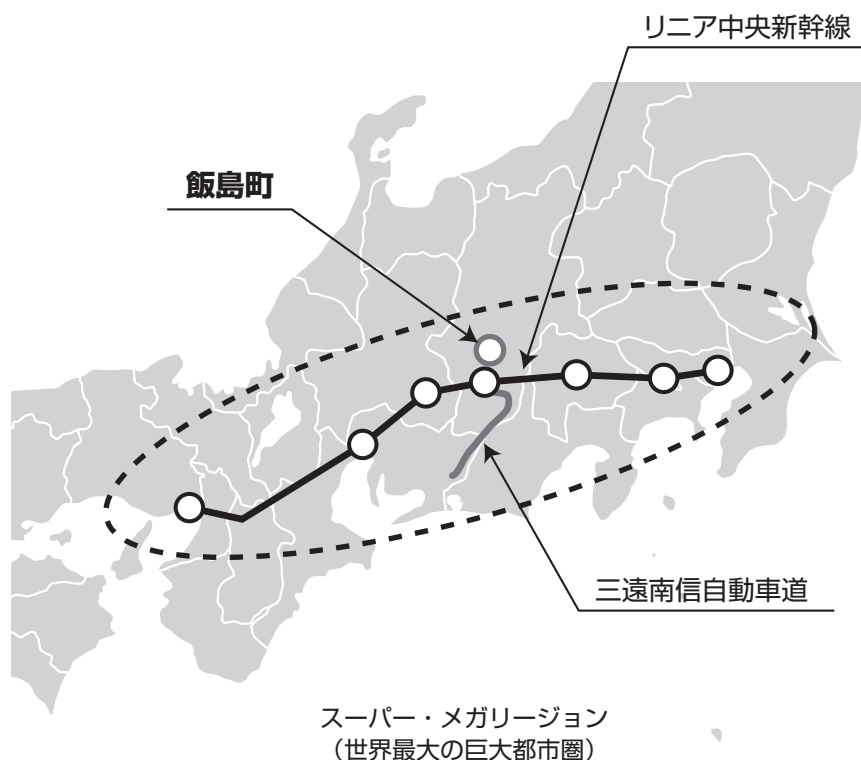
副町長 将来の投資で、ゼロがよいとは思わない。決算統計数字で改ざんはできない。

問 財調など基金のルール化を。

町長 財調は10億円を目途としている。これから大きな事業もあり、基金積み立てが必要になる。10億円確保とは考えていない。ルール化で融通が利かなくなる懸念もある。

基金の現況 (令和2年3月末現在)

財政調整基金	11億1785万円
減債基金	1億6395万円
公共施設整備基金	4億6660万円
地域福祉基金	1億7061万円
高度情報化基金	1億9266万円
ふるさと応援基金	2616万円
その他基金	7329万円



消防車両の早期更新を

予算特別委員会では、以下の議案について審査を行い、全議案全会一致で可決。

一般会計補正（第4号） 国保会計補正（第2号） 後期高齢医療会計補正（第1号） 介護保険会計補正（第1号） 水道会計補正（第1号） 下水道会計補正（第1号）

総務産業分科会主査報告

★総務課

問 地域循環バスは決算審査で、今後は自宅から乗れるように検討したいと聞いたが、今回の補正に費用計上はないのか。

答 今回は、バス車両の改修のみ。自宅から乗れるようになるのは、令和4年度から検討したい。

★建設水道課

問 移動脱水車は、毎回修繕が計上されてきている。今後の方針は。

答 現在の脱水車は、製造から22年経過しており、今後も修繕をしながら使用をしていく。新車購入となると1億2000万円程度かかる見込み。補助金で購入できないか検討していく。

社会文教分科会主査報告

★教育委員会

問 認可保育園の工事内容は。

答 飯島保育園はボイラーの修理、七久保保育園は給食室の暖房機修理、東部保育園は園内の木造階段修理である。

問 中学校吹奏楽部の楽器の大幅入れ替えだが、現存楽器の廃棄は。

答 使える楽器は最後まで使用する。メンテナンスは常に指導している。

総括質疑

問 給食センターの調理員を正規職員にするなどの対応は。

副町長 管理体制は予算の検討をするなかで考えていきたい。

問 産地パワーアップ事業が不採択となった経緯は。

副町長 予算計上が申請の条件であることから予算化した。事業の応募数が多く、今回は不採択となった。

問 消防車が古くなっている。マニュアル車を運転できない人が増えてくるが。

副町長 年次更新の中で検討をしていく。各分団とも協議をして決めていきたい。

問 旧丸井醸造の解体工事は評価できる。他にも先送りにして問題となっているものがあるが。

副町長 解体などは、できるだけ町費を使わない方法を考える。石曽根工業団地の反省を行い、今後の対応の参考にしていきたい。

討論

賛成 消防団活動服を全員分の配備、吹奏楽部の楽器更新など評価できるため賛成。

反対 なし

追加議案

令和3年度 一般会計補正（第5号）

会期中に、一般会計補正予算が追加されました。本会議最終日で、質疑・討論。採決の結果、全会一致で可決されました。

主な質疑

問 今回対象外の事業所支援は

考えているか。

答 時短営業を受けた事業に限定だが、国県の支援があれば今後取り組む。

問 長野市依頼の「悪病退散花火大会」の受け止めは。

答 千曲川沿い地域が主であり、今回対応しない。

問 酒蔵が地酒プレミアム券を

企画している。申し込みがインターネットで、不得意な人の支援を。

答 手続きなど県に働きかけていく。

討論

賛成 給付金の素早い対応を評価する。

賛成 給付範囲が広がり賛成。

公開します〔9月定例会 審議議案と議員の賛否〕

上程議案・概要・結果	賛成：○ 反対：×	結 果	浜 田 稔	久 保 島 巖	片 桐 剛	吉 川 順 平	坂 本 紀 子	星 野 晃 伸	三 浦 寿 美 子	堀 内 学	坂 井 活 広	伊 藤 秀 明	宮 脇 寛 行	折 山 誠
全賛… 全員賛成で可決・認定・採択 賛多… 賛成多数で可決・認定・採択 賛少… 賛成少数で否決・不認定・不採択														
人権擁護委員候補者の推薦について 竹澤 綾子 氏（再任）を推薦	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員候補者の推薦について 川村 裕彦 氏（新任）を推薦	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
農業委員会委員の任命について 箕浦 賢一 氏（新任）の任命同意	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
条例の一部改正														
個人情報保護に関する条例 情報提供記録の訂正報告先など国の法令改正に伴うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和2年度 全会計歳入歳出決算認定について（議会選出監査委員を除く）														
令和2年度一般会計	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	
令和2年度国民健康保険特別会計	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	
令和2年度後期高齢者医療特別会計	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	
令和2年度介護保険特別会計	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	
令和2年度水道事業会計	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	※
令和2年度下水道事業会計	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	
令和3年度 補正予算														
令和3年度一般会計（第4号）3億3406万円 基金積立、道路・学校補修、与田切トイレ改修など	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度国民健康保険特別会計（第2号）3069万円 繰越金処理など	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度後期高齢者医療特別会計（第1号）315万円 繰越金処理、基金積立など	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度介護保険特別会計（第1号）1024万円 繰越金処理など	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度水道事業会計（第1号）98万円 人件費調整など	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度下水道事業会計（第1号）496万円 脱水車・農業集落排水施設修理など	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度一般会計（第5号）1611万円 豪雨災害農業施設復旧、コロナ禍事業継続応援など	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
契約の締結														
庁内情報システム再構築委託契約 5056万円 有限会社キャリコ 随意契約による	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
飯島体育館大規模改修工事契約 9625万円 石田建設（株） 一般競争入札結果による	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書														
コロナ禍に対処し地方税財源の充実を求める（議員発議） 地方財源を強化し、コロナ対策の税軽減は国負担に	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長は議事進行のため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」で表明。

町政を問う

10議員が質問

一般質問

「一般質問」とは行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

久保島 巖 **総合計画**
町長任期で見直しを ————— P11

吉川 順平 **町農産物を給食へ**
宮田村方式の体制の整備を ————— P12

片桐 剛 **防災減災**
気候変動・異常気象に対する防災計画は ————— P12

宮脇 寛行 **用水上流の盛土対策**
地元要望の実施を ————— P13

星野 晃伸 **高校再編**
地域や子どもたちへの影響は ————— P13

伊藤 秀明 **高齢者の一人暮らし**
見守りロボットの設置を ————— P14

浜田 稔 **町のコロナ対策**
自粛以外の具体策は ————— P14

堀内 学 **地域おこし協力隊**
活躍できるサポート体制を ————— P15

坂本 紀子 **1000ha 自然共生農場づくり**
みどりの食料システム戦略の活用を ————— P15

三浦寿美子 **介護認定**
入院中の調査を ————— P16



◀◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



総合計画

町長任期で見直しを

久保島 巖

しっかり研究が必要 町長

問 総合計画は町長のマニフェストの具現化が盛り込まれるべきだ。考えは。

町長 長期的展望の中、方向性を町民・議会・行政が共有し、一丸となり取り組む指針・基本的な構想だ。それに沿い町長マニフェストがあるという認識だ。

問 課題・基本構想と基本計画・実施計画を分けて考える必要がある。課題や構想は共有し、その実現手段は町長の考え方やマニフェストで変わる。それが

基本計画・実施計画である。

町長任期により見直しをしてはどうか。

町長 こうした大きな転換・組み換えにはしっかりした研究が必要だ。

情報システム再構築

問 今回の再構築で、住民サービス向上やオンライン手続きなど、利便性向上は盛り込まれているか。

総務課長 具体的な住民サービ

スの向上やオンライン手続きなどは含まれていない。職員の操作性の向上を図るもの。

問 早急にシステム担当者増や体制強化が必要だ。

副町長 自治体DXも見据えて、体制強化する予定で取り組んでいる。



10年間固定化の総合計画



町農産物を給食へ 宮田村方式の体制の整備を 出来る前提で進めたい 町長

問 学校での食育・食農教育推進体制についてはどうなっているのか。

教育長 飯島の3校とも食育担当があり、食の指導に関する全体計画を進めている。

地産地消は、栄養士が子供たちに折りに触れて食農教育を実施している。

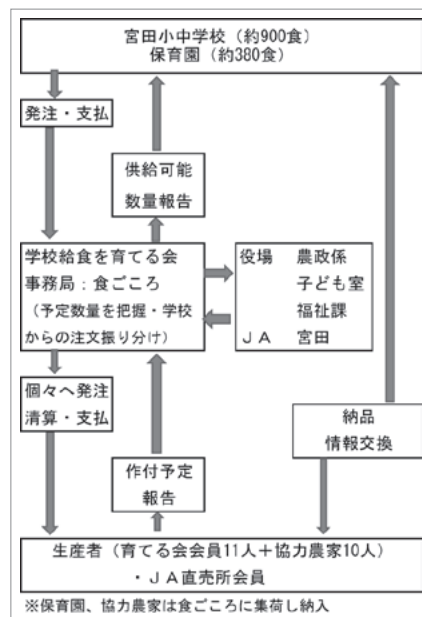
問 飯島の農産物を学校給食に提供できるシステムが必要になる。

「宮田村の学校給食を育てる会」

のような体制整備の考えは。

教育長 宮田村は給食食材調達にコーディネーターが活躍している。給食センター建設を機に、実施したいが人材確保が難しい。

町長 宮田村のような取り組みが、できない理由を掲げるのではなく、できる前提で進めたい。



宮田村学校給食を育てる会 取組図

▶その他の質問

- ・千葉県事故に鑑み、通学路の優先整備と登下校の安全教育を
- ・コンパクトシティ構想の長期構想
- ・2つの道の駅周辺に収穫体験が楽しめる農業公園構想の提案



◀◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



防災減災 気候変動・異常気象に対する防災計画は ハザードマップ最新版の活用を 町長

問 町内にはハザードレベル4や5のエリアが点在している。地震・豪雨などその地域にあった防災計画が必要である。

有事の際には、市町村を超えた情報共有・公助が有用な場合もある。隣接市町村とも連携協力を進めるべきだが。

総務課長 各地区に沿った細やかな注意・警戒を呼びかけるのは、現実的には困難。

この秋、ハザードマップ最新版を発行する予定、活用いただきたい。

6次総の創合力とは

問 第6次総合計画内に「住民と行政の創合力による安全で安心なまちづくり」が挙げられている。町が考える「創合力」とはなにか。

町長 「創造力」を住民と行政それぞれで持ち寄り「合わせる」という願いを込めた造語である。行政だけでは対応し切れない課題に、住民とともに取り組んでいきたい。

問 昨今の異常気象からの度重

なる豪雨対策や防災・減災につき早急に整備する必要がある。住民と共に創合力の創出をする時期は。

町長 具体的には決まっていない、遅れがないように対応していきたい。



町内に点在するハザードエリア
(写真はR153 豊岡地籍から天竜川方向を望む)



用水上流の盛土対策

地元要望の実施を

県とも協議し改善 町長

問 猿ヶ城用水取入口上流の盛土に関する田切区会・北河原自治会からの各種要望事項は確実に実施されるか。

町長 町民は大変心配していると思う。引きつづき町は県に要望していく。

問 中田切川の第3砂防堰堤は満床のままだが。土砂の早期搬出を希望する。

建設水道課長 国交省では堰堤は満床であるが、機能は確保出来ているとしている。町として

は、林道整備も含め早期実施を要請する。

問 水力発電事業の進捗状況は。

町長 本沢のきれいな水を現施設の活用の他、新規施設での発電を県企業局が進め、その水を活用して町の発電事業に繋げる。

水利権の問題を県企業局が進めており、その後の事業となるが10年ほどで建設費用が回収される見込み。また、浄水場にも活用したいと考えている。



猿ヶ城用水取入口上流の盛土

▶その他の質問

・飯島流ワーケーション事業の進捗状況

9月定例会では議員10名が登壇し町政を質しました。



高校再編

地域や子どもたちへの影響は

より良い教育環境を期待 教育長

問 令和3年度入試の状況から、県教育委員会は上伊那学区内進学率が63.4%と低いとし、上伊那に魅力ある高校を設置しようと考えている。

令和2年3月上伊那の中学卒業生数1704人に対し、募集定員が1160人と少なく学区外流出者が145人。中学卒業生数は諏訪地区・下伊那地区とさほど変わらないので、単に上伊那の高校が足りないと思う。

さらに県教育委員会は「伊那北高校・伊那弥生ヶ丘高校の統

合」と「駒ヶ根工業高校・上伊那農業高校の統合」を計画している。

上伊那は全県の3番目の製造業集積地なので、現状では今の農業科の倍の工業科が必要と考える。

このまま駒ヶ根工業高校と上伊那農業高校が統合すると、学区外への流出が増え、飯島町の人口減にもつながる。以上の懸念事項について教育長の見解は。

教育長 高校再編計画は県教育委員会の所管である。より良い

教育環境の実現を期待している。



伊那北高校



伊那弥生ヶ丘高校



駒ヶ根工業高校



上伊那農業高校



高齢者の一人暮らし 見守りロボットの設置を

研究したい 町長

問 高齢者一人暮らしの世帯に、見守りロボットの設置を求めるが。

健康福祉課長 他の自治体の取り組み事例も参考にしながら、高齢者が安心して地域で暮らせるように研究を進めたい。

問 助けて欲しい人が、「お助隊」に対して何を要望して良いかわからないが。

健康福祉課長 例えば、ゴミ出し・草取り・掃除・病院や買い物への付き添いなどである。日

常生活の困りごとや、話し相手などの問題を解決するための仕組みである。

今ある地域の中で支え、支えられるお互いさまの暮らしを目指し、いいじまお助隊として取り組んでいる。

いいじま未来飛行600号

問 記念事業は考えているか。

町長 検討中、楽しみにお待ちください。



いいじま未来飛行創刊号

- ▶その他の質問
- ・公用車安全対策
 - ・ヤングケアラー
 - ・町内移住者
 - ・給食センター
 - ・中学校のプール



◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



町のコロナ対策

自粛以外の具体策は

肩書のある専門家の指導に従う 町長

問 県は生活支援を始め、医療検査体制の強化、抗原キットの配布などを行っている。しかし、9月12日までの集中対策期間にどこまで実施され、なぜ有効かなど具体的な中身が無い。町は内容を把握しているのか。

健康福祉課長 検査キットは県から希望調査が来た。医療体制や検査機関は公表しない方針だ。上伊那でPCR検査能力を増強する計画は無い。

町長 全国でデータを分析し、対応方針が県・町へ下りてくる。

肩書のある専門家の指導が町民を安心させる方法だ。議論百出だが、政治判断でもある。



高校再編

問 以前「上伊那の高校再編は数合わせではない」との答弁を得た。今回の2次案への所見は。

教育長 飯島の子どもたちの進路に多様性が確保され、入ってからやりたいことができるという卓越性も担保できるよう期待している。

高校再編後の推定図「伊南はスカスカ」



地域おこし協力隊

活躍できるサポート体制を

堀内 学

地元と協力して活動ができる体制を整える 町長

問 地域おこし協力隊がミッションを達成するための施策はあるのか。

地域創造課長 協力隊を雇用するときにミッションの内容を伝えている。

問 協力隊に望むことはなにか。

町長 地元の人や文化に興味を持って、地域になじみ、自身が任期前に培った知識や経験、人脈を生かし、町の発展に協調性を持って進められる人材を望む。

問 協力隊と地元の人でトラブルが起き、協力を得られずミッションの達成が難しい協力隊がいると聞いているが。

地域創造課長 意見の相違であろうかと考える。その場合に、町が仲介に入るべきであると考え。地元の皆様と力を合わせて活動ができるようサポートをする。

問 飯島への定住につなげるために分譲地や補助金の上乗せをしてはどうか。

地域創造課長 町では、人口増プロジェクトを立ち上げ、若者が定住したくなる施策を検討している。

町長 協力隊に定住してもらうには、同年代の仲間を作ることが大切だ。



ラプリー♥フェスタ出店の様子

▶その他の質問

- ・税務申告など手続き簡素化の研究
- ・税務相談などの支援の在り方

9月定例会では議員10名が登壇し町政を質しました。



1000ha 自然共生農場づくり

みどりの食料システム戦略の活用を

坂本 紀子

注視している 町長

問 国は2050年までにカーボンニュートラルで脱炭素社会の実現を目指すとした。その中に農林水産省「みどりの食料システム戦略」がある。

モデル地区を創設し技術開発への財政支援が柱で、持続性と生産性向上の両立を目指す。

また、化学農薬の使用量半減や有機農業の面積拡大、デジタル技術を活用した生産体制構築など掲げている。認識は。

町長 「地域複合営農への道パート5」の10年と併せて、第6次

総合計画の中の環境循環ライフ構想にも関わることで、注視している。

産業振興課長 「みどりの食料システム戦略」令和4年度の農水省概算要求は約100億円であると認識している。

問 松川町は有機栽培の根菜類を、学校給食に使うのに2年で実現させた。

以前から私も含め多くの議員が自給率アップを求めてきたが、当町では進んでない。考えは。

産業振興課長 給食に共生栽培の越百黄金米を1.2トン使っている。有機栽培の野菜は難しい。

問 給食食材の自給率向上のために、課を超えた取り組みをしているか。

町長 実現に向けて今後考える。

問 昨年3月に、調理員の正規職員化も求めているが。

町長 所轄と相談しながら検討していきたい。



建設中の給食センター

▶その他の質問

- ・コロナ対応は充分に出来ているか



介護認定

入院中の調査を

必要な場合は行っている 町長

問 町が入院中の介護認定調査を行っていない理由は。

健康福祉課長 原則、心身の状態が安定している状況を把握できる場所で行うことになっている。入院中でも必要な場合には調査を行っている。

問 退院後の在宅介護で段差の解消や手すりの設置など準備が必要となる。ケアマネとの介護サービス計画作成、福祉用具のレンタル契約も必要に。

介護度決定までは仮の計画。
要支援は介護ベッドが自費負担。

費用負担の心配もあり、早めの介護度決定が必要。入院中の認定調査の実施範囲拡大を。

健康福祉課長 近隣市町村と情報交換をしながら、申請者に寄り添った認定調査に努めたい。



要支援では自費負担



歩行補助具は補助対象

問 特別障害者手当は介護度4・5の常に介護が必要な人が受給できる可能性がある。対象者へ制度の周知を求めるが。

健康福祉課長 町が申請窓口で、福祉事務所が書類審査、支給の可否を決定する。知らない人もいと思うので広報に努める。

▶その他の質問

- ・新型コロナ禍の施策の対応
- ・高齢による難聴の補聴器購入補助制度の提案



◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。

上伊那広域連合議会報告

8月30日

8月定例会が伊那市議場において開催され、当町からは、広域連合議員として折山誠・宮脇寛行議員の2名が出席しました。令和2年度4会計の決算認定他計6議案をすべて全員一致で認定・可決しました。

令和2年度一般会計決算

歳入	24億1715万円
歳出	23億1512万円
翌年度繰越	1237万円

主な支出

ごみ処理施設運営など衛生費が12億4328万円。

飯島町負担金は7572万円。

令和2年度広域消防事業決算

歳入	18億7708万円
歳出	18億5954万円

飯島町分担金は1億181万円。

その他広域連合の仕事

保健障がい者福祉・老人ホーム入所判定・介護保険・在宅当番医・地域医療再生・ごみ処理・情報センター・広域観光・土木振興・広域消防など。



新ごみ焼却施設（上伊那クリーンセンター）

竣工 / 平成31年3月29日
供用 / 平成31年3月30日

いいまち 議会だより モニターのひとこと

第96号に対するご意見や、町へのご要望は…



左のQRコードを読み込んでいただくとアンケートの画面になりますので町民の皆様の声をお聞かせください。

第95号 広報紙面に対するご意見

◆表紙

- ・ワクチン接種状況の写真は良かった。
- ・時の話題として良いと思う。
- ・誰が見てもワクチン接種時に発刊されたものだとかかって良いと思います。

◆特集ページ

- ・一目で議会の目標と取り組み、各委員会の年間計画、各議員の意識がまとまっていて大変いいなと思います。
- ・各委員会の委員さんの所属も書いてあるとよかった。
- ・議会として又、議員としての目標と取り組みがわかる。
- ・今までと違い意味のない目次より、議会の取り組み注目の事業等ページをうまく使っていると思いました。
- ・若返った議会が活動をやるぞ！！という気概が伝わってきました。「これいち」のコーナーは毎号テーマが変わるのでしょうか？小さくていいので目次は欲しいところです。

◆定例会・全員協議会

- ・あまり内容が解らない。
- ・年間の取り組みがわかりやすくして良い。
- ・要点がまとまっていて良い。
- ・問いに対し簡潔明瞭な答えで、紙面もすっきりしていてわかりやすかった。
- ・P8の「公開します」議員さん1人1人の姿勢が伝わって大変良いと思います。

◆一般質問

- ・各議員さんのその他の質問に対しての答えなども見たいと思いますが紙面では無理ですね。
- ・質問を抜粋して記されていて読みやすい。その他の質問についても議会ホームページより閲覧でき、QRコードから見ることで便利と感じた。
- ・紙面が少なく要点のみの記載になっている。
- ・以前に比べ質問数が減った感じだが、このくらいの方がざっくりあるより理解できる。

◆モニター・町民の声

- ・町から祭りもなくなり思い出の場としてのラブリーフェスタ、同じ時期にりんりん祭、2つのイベントは主催は違うようですが主旨は違うのでしょうか。風鈴があるかないかで違いがわかりません。来年以降もイベントとして定着させる予定でしょうか？コロナの後どの程度イベントが復活するかということもありますが正直似た様なイベントを同じ時季に無理してやらなくてもと思う。

- ・ラブリーフェスタ実行委員長のように若い世代で町民のために邁進されている方の話は興味深い。
- ・議会だよりモニターだけでなく、町民のほうにQRコードからアンケートで町民の声を聞く方法は良いと思った。
- ・「モニターの…」はこの位置で良いと思います。
- ・良かった点ばかりなのではないでしょうか。「追跡あれどうなった」は議会として大切に伝えてほしい。
- ・私たちモニターに対するアンケート用紙でそれぞれの項目に各Pが記載されました(今回95号から)このことは大変有難く今後もこの形式をお願いしたい。

◆全体の印象

- ・広報委員会事務局の皆さんの努力が感じられます。発信媒体の研究も含め、多くの町民に議会活動が広く理解され町民からの関心と幅広い意見が出るようになるとうい。
- ・紙面の構成が変わりとても読みやすかった。
- ・総ページ24から16ページに縮小され目次、一般質問ページもなしや半分にされていました。綺麗に納まっていた。内容は薄いように思いました。
- ・記載された写真が全体的にはっきりしていないと感じます。議員さんの顔もスペースは充分ですがもう少しアップしても良いと思います。
- ・各人の名前の入れ方はとても良いと思います(例えば94号に記載された各人の写真)

◆特集

- ・各議員の令和3年度の注目の事業は良いと思った。
- ・とても良い企画だと思います。何のための議会なのかよくわからなかったですが、このような企画を通じて議会を理解できればと思います。
- ・コロナ関連の町の工夫、経済、接種の状況、仕組みについて取り上げてほしい。
- ・町政の課題など長期的に視点に立って掘り下げてほしい。

◆今後へのご意見、要望

- ・文中で素人の人にも理解できるよう注釈か解説をつけてもらえるとありがたい。インボイス方式って何？
- ・国、県の委託業務や自治体としての必須業務以外での町独自の自主業務についての情報が知りたい。
- ・柏木グランドの人工芝化の記事が今回気になったのですが柏木グランドを芝化するメリットが飯島町にあるのでしょうか？
- ・紙面の制限があるのは分かりますが、単語の羅列の記事はさけ、言葉数を多くきちんと説明する記事に努めていただきたいと思います。

用語辞典

あ ICT(アイシーティ)=コンピュータ化
か 会計年度任用職員=正規職員以外で、年度毎の採用職員
カーボンニュートラル=二酸化炭素のバランス調整
ぎ ギガスクール=学校でのコンピュータ活用

け 経常収支比率=固定費の割合
こ コンポスト=生ごみ処理機
コーディネーター=調整役
し 将来負担比率=将来の借金返済額と財政規模との割合
た タブレット=画面だけの小型コンピュータ
で デジタル=アナログの反意語で、電子化電算化。

は ハザードマップ=危険注意地帯地図
ぶ プロジェクト=特定の目的目標
ま マニフェスト=公約
み ミッション=設定の任務
ら LAN(ラン)=インターネットに接続する通信網
わ ワークेशन=労働(ワーク)と休暇(バケーション)を合わせた造語

町民の声を議会へ

このページは町民の皆様に取材協力をお願いして、町政や議会への意見や感想を掲載しています。今回はりんりん祭を開催した実行委員長の堀内陽子さんに投稿していただきました。

りんりん祭 ～飯島町に幻想的な新観光スポットで町おこしを!～

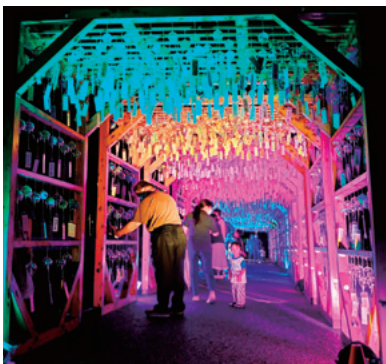
飯島町は2つのアルプス間にあり、この2つのアルプスから流れる風はとても気持ちがよく、この風という資源を全国に伝える方法として風鈴を使った祭りを考え、実行委員会を立ち上げました。

本年度は8月14日に“第一回りんりん祭”を開催することを目標に3000個の風鈴展示とイベントを計画していましたが、コロナの感染拡大と記録的な豪雨の為、イベントは中止せざるを得ませんでした。

風鈴は、町民・企業の皆様、全国にいる飯島町ゆかりの方など、多くのご協賛やご寄付をいただき、開催に至ることが出来ました。

8月21日(土)JA飯島支所様駐車場にてヒノキやぐらの風鈴街道の展示をさせていただきました。

あわせて行う予定でありました



夏祭りイベントは開催できずとても残念でしたが、展示された風鈴の圧巻の光景は私の想像をはるかに超え言葉を失うほどの感動がこみ上げてきました。

材料となる風鈴は中川のガラス工房錬星舎さん、短冊はこまくさ園さんで手作りしていただき、風鈴への絵付け、短冊への願い事を町内の子どもたちにしてもらいました。

多くのボランティアの皆さんのおかげで、風鈴街道の展示ができたこと心から感謝申し上げます。

来年度は新たに3500個の風鈴展示と、最高の夏祭りを多くの皆さんにお届けできる企画を一年かけて準備して参ります。

ギネス世界記録は2023年10000個の風鈴街道で挑戦し全国メディアで飯島町を最大限PRしたいと思っています。

町民参加型のギネスへの挑戦をすることで、まちおこしをしていきたいと思います。



次年度の実行委員会は多くの新メンバーが参加して年齢に関係なく多種多様な発想と展開を打ち出していきたいと準備に取りかかっています。一歩ずつですが成長し一生懸命努力して参りますので、今後も町民の皆さまのご理解とご協力をどうぞ宜しくお願いします。

議会や町に望むこと

このイベントが継続できるよう、保管場所や作業場所、また開催場所の選定・手配など、今後の運営とイベント開催に当たりお力添えいただけましたら嬉しいです。

多くの町民がつながるこのプロジェクトのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

議会だより クイズ

ヒントは13ページに



【問題】 現在、県教育委員会では、「〇〇〇〇高校・〇〇〇〇〇〇高校」と「〇〇〇〇〇〇高校・〇〇〇〇〇〇高校」の統合が検討されている。

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈

(締切は11/30、発表は発送をもってかえさせていただきます)

応募要項

住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ
ハガキ・FAX・いいちゃんポストで、飯島町
議会事務局 議会だよりクイズ係宛まで

発行責任者／議長 折山 誠 編集委員／◎片桐・○久保島・浜田・吉川・星野・堀内

あなたの声を議会だより ☎0265(86)3111 内線230 FAX.86-4395 E-mail: iijima-gikai@cek.ne.jp